

芸術館では学芸業務を体験するインターンシップを行っています。美術工芸学科、文芸表現学科、キャラクターデザイン学科、情報デザイン学科、大学院芸術環境専攻で学ぶ学生5名が、豊原国周の浮世絵の魅力を伝えるミニ・リーフレットづくりに挑みました！

「江戸時代のモテ男」をテーマに！

まずはアイデアを練るところからスタート。芸術館のデータベースやカタログ、浮世絵に関する書籍をもとに意見を交換し、「江戸時代のモテ男」のテーマに決定。「勸進帳」の源義経や「助六由縁江戸桜」の花川戸助六などを題材にした役者絵を選びました。

さらに、浮世絵を専門とする石上阿希先生から、役者絵の読み解き方をレクチャーしていただきました。学生たちは事前に作品を調べて質問を準備。講義では、率直な疑問や鋭い感想が飛び交いました。



市川團十郎演芸百番/花川戸助六

観て、調べて、話して、考えて、言葉とデザインを磨く！

その後は、作品解説チームとデザインチームに分かれて制作を進めます。リーフレットの形について「A4サイズにする?」「二つ折りにする?」など、さまざまなアイデアが飛び出しました。歌舞伎の映像を視聴するなど、さらにリサーチを重ねながら、解説の内容やデザインを少しずつブラッシュアップ。チーム間で意見をやりとりしながら、完成に向けて制作を進めました。

制作途中のリーフレットを教員が確認した後は、いよいよ仕上げの段階へ。入念な校正やデザインの調整を重ね、短い制作期間のなかで、5人が協力してミニ・リーフレットを完成させました。

浮世絵を観るだけでなく、調べて読み解き、伝えることに挑戦した今回のインターンシップ。学生ならではの視点が詰まったリーフレットに仕上がりました。



リーフレット（表紙部分）

ミニ・リーフレット「のぞいてみる?江戸の色男」は近日中に芸術館で配布するほか、ホームページでPDF公開する予定です。ぜひ手に取ってご覧ください！

芸術館Instagramでは、展覧会やイベントの情報、作品の紹介、活動報告などを発信中！ぜひ「フォロー」や「いいね!」をしてみてくださいね。